

No	必要期間	大項目	小項目	内容	相談先・依頼先	期限	実施状況
1	1年~2年	構想	コンセプト設計	お店のコンセプト、理念、ビジョン、お客様のバリュー（価値）を検討 コンセプト設計時には他店舗のコンセプトや店構えも調査し参考にしてください。	先輩開業者		
2			開業資金計画	開業するにあたり店舗取得費用、内外装工事費用、設備費用など初期投資に必要な項目や金額の洗い出しを行います。	先輩開業者、コンサルタント		
3			事業計画	コンセプト設計、開業資金額が目途がついた段階で事業計画を作成します。事業計画では日次売上、月次売上、年次売上などを算出し、毎月発生する固定費、変動費も洗い出し収益計画を立てます。事業計画は金融機関など融資申込にも必要な書類となりますのでしっかりと計画を行ってください。	コンサルタント、公的機関、金融機関		
4			資金調達先の調査	開業資金の調達先である公的機関や金融機関の比較検討を行います。借り入れには利息、支払期限など各種条件がありますのでこの段階でどのような資金調達先があるか比較検討してください。	コンサルタント、公的機関、金融機関		
5			出店場所の調査	実際のお店を出店する地域、場所などの調査を開始します。合わせて街なみ、近隣の施設（スーパー、コンビニ有無）の状況、人通り、交通量などもあわせて確認してください。	不動産会社		
6			デザイン業者の調査/選定	お店のコンセプトを実現するにあたり、内外装のデザインやお店づくりの設計を行ってもらえる業者を調査・選定します。	デザイン業者		
7			設備・備品、什器の	お店づくりで重要となる設備（椅子、鏡面）や各種什	先輩開業者		

			調査	器に関してもコンセプトと照らし合わせて調査を行います。			
8	1 か月前～1 か月前	開業前作業	テナント選定	構想段階で調査を行ったテナントから予算も考慮してコンセプトに合う店舗、テナントを決定してください。	不動産会社		
9			融資	出店先のテナントが決まったら融資の申し込みを行います。構想段階での資金調達先を調査する段階で融資実行されるまでの標準期間も確認してください。	公的期間、金融機関		
10			施工業者の選定	デザイン業者とともに工事施工業者を選定します。	デザイン業者、施工業者		
11			設備・備品、什器の決定	事前に調査していた設備・備品、什器の中からお店のコンセプトに合うものを選定、発注します。			
12			メニューなどの決定	お店で取り扱うサービス、メニュー（セット含む）などを決定しましょう。また、営業時間、営業日なども併せて決めてください。	先輩開業者		
13			開業事務手続き	保健所へ提出する開業届、税務署に提出する届出書など各種開業に必要な書類を提出します。	保健所、税務署		
14			広告・宣伝	新規でお客様を集めるための広告・宣伝の準備を行います。SNS をすでに利用している方であれば開業前から開業情報を発信してください。	広告制作会社		
15			設備・備品、什器の配置	設備、備品、什器などを配置してお店づくりを行います。 備品などを配置する際はコンセプトをしっかりと意識しながら配置を行ってください。			
16			開業前チェック	開業前に店舗全体、内外装、設備などを一通り確認し			

				<p>ましよう。また、実際にお客様が来店されたときのシミュレーションも必ず行ってください。</p> <p>開業前に親族、友人でご協力できる方に来店いただき、カット、シャンプー、ブローなどの一連の流れを確認し実際にサービスを受けた際の感想、改善点などを率直にあげていただくことも良い方法です。</p>			
17	当日	開業	オープン	<p>オープン当日です。</p> <p>しっかりと準備してきましたので笑顔でお客様をお迎えしてください。</p>			